

# 北陸学園中学高等学校弓道部

## 第22回ユニセフチャリティー弓道大会

高校生ボランティア・アワード2022

### ユニセフチャリティー弓道大会とは 活動概要

マラソンや他のスポーツでは、チャリティーを目的としたイベントがよく開催されているが、武道では聞いたことがない。弓道部員とともに慈善イベント活動を行ないたい、その思いで始まったユニセフイベントへの取り組みである。初開催は本校の弓道場で2001年に開催され、第2回より大会名が「ユニセフチャリティー弓道大会」に定着することになった。

大会の運営は、北陸中学高校生の現役部員と北陸高校弓道部OB会諸氏のボランティアで行われている。1名200円の大会参加費が日本ユニセフ協会への募金となり、ワクチンなどの支援物資となり、世界の子供たちを助けることにつながる。今年はウクライナ支援を目指し準備している。

「小さいけれど少しでも世界の一角を灯したい」  
ユニセフチャリティー弓道大会の趣旨である。



### 「ひろがる輪」



通常の大会は学校ごとの所属で出場するが、他校や家族・OB・年代の違う一般選手とも出場することができる。人と人とのつながりの輪がさらに大きくなる。

高校生たちが主体的に大会運営を通じて世界の子供の現状や平和の大切さ、日本の役割、どう働いて仕事に取り組むかを考え自助力を鍛えることができる。

ユニセフの活動を知り、世界の情勢を知り、視野を世界に広げる素晴らしいインスパイアを与えることが出来ており、高体連とは直接関連のない、この大会を開催し始めてより、教育関係・国際関係への進路を選択する部員が増えてきた。

昨年の第21回大会はコロナ禍の影響でやむなく開催が中止（学内開催）になってしまったが、コロナウイルスの感染状況が収まったら、福井県立武道館で再度開催するために部員は準備をしている。詳しくは公式facebookページがありますので、ご覧ください。

**大会公式フェイスブックページ**  
**ユニセフチャリティー弓道大会** で検索

- 平成18年 福井県善行団体表彰受賞
- 平成25年 ボランティアスピリット賞受賞
- 平成26年 福井県善行団体表彰受賞
- 平成27年 全国高等学校体育連盟研究大会  
部活動の取り組み最優秀活動賞受賞
- 平成29年～令和3年  
高校生ボランティアアワード受賞



### 北陸学園中学高校弓道部

1961年創部、部員役100名。中学生部員が16名。各コースの部員が在籍している。  
平成11年 インターハイ男子個人3位。  
平成12年 インターハイ男子団体5位。  
平成17年 全国センバツ女子団体3位。  
平成27年 岩手国体少年男子遠の準優勝。  
令和3年 全国センバツ女子団体3位。  
2001年世界で初めて弓道競技でのユニセフチャリティー弓道大会を主管開催した。